

平成25年度 地域相談支援フォーラム（東海・北陸ブロック）

セッション2

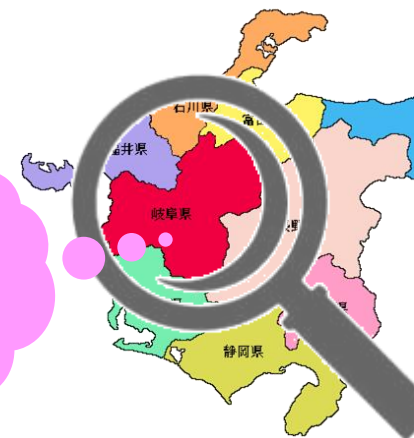
地域における相談支援センターの立場の確立
～地域とのつながりを大切にした取り組み～

高山赤十字病院

上野 恵子

2013.10.19（土）

岐阜県がん診療連携拠点病院協議会 患者相談専門部会



国の定めたもの（不変）

がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない社会づくりの実現をめざす

県のがん対策推進計画でがん医療の充実のための個別目標

がん医療に関する相談支援及び情報提供体制の整備

具体的な施策としてあげられているもの

がん医療に関する正しい
情報の提供

【現在の活動】2011
各病院で地域の情報を収集している（岐阜・東濃・西濃・飛騨）
患者必携の普及への活動

【課題・希望・困り事】
・県内および近隣の県の医療機関のがんに関する情報（サロン含む）が検索できる体制を作りたい
岐阜県がん情報センターが設置されれば解決されるか？

相談支援センターの周知

【現在の活動】2011
病院案内での紹介
院内での掲示・広報
サロンの開催（協力）

【課題・希望・困り事】
・サロンの充実/継続
・公立の図書館などとの連携
各病院、国ががんのHP、患者必携等には載っているが、地域の隅々、健康な人までもが相談支援センターの存在を知っているだ
ス。ム。ハ。ウ

相談支援センターの
相談体制の強化

【現在の活動】2011
定期的な情報交換会の開催
情報交換会での事例検討

【課題・希望・困り事】
・各相談員がスキルアップできるような研修会・学習会への参加
・相談支援センター間で随時相談できるような体制づくり
・信頼できる患者団体との連携
相談支援センター以外でも相談また情報収集できる体制（サロ

メーリング
事例検討

【年に2回の部会開催】

2013の取り組み

岐阜県のがん診療連携拠点病院としての課題を明確化



現在その課題について担当を決め、具体的な活動案を作成中

11月：2部構成の会議



レベルの底上げを図る!!

高山市の概要



平成17年2月市町村合併
(高山市・吉城郡・大野郡)

面積:2,177.67Km²
(日本一広い市 東京都に匹敵)

山林: 92.5%
人口:92,369人(H25.9.1)

高齢化率:28.5%【H25.9.1:住民基本台帳 調べ】

<飛騨医療圏:赤色>



高山赤十字病院の医療の基本

地域医療の確保

救急医療

がん医療

へき地医療

周産期医療

災害医療

医療の質の向上（患者さんのニーズ）

経営の健全化（収益と投資のバランス）

当院のがん相談窓口の様子&患者サロン



がん相談
窓口です



ほっとサロン



© March



2012.6.1~7.31:現況報告より当院のがん相談の特徴
相談件数の12.3%が院外からの相談

中部の拠点病院の平均 約8%

中部の緩和病棟ありの病院の平均 約17.8%

面談での対応が全体の79% 平均26分

本人からの相談 55% 医療者からの相談 21%



地域とのつながりを大切にして 取り組んできたこと



1. 院内の緩和ケアチームと連携しての
地域への継続したPR
2. 地域の市民団体との交流
 - ・患者会への参加によるがん相談窓口のPR
3. 行政・医療機関・市民参加型の会としての活動
 - ・会員が相談員となり「がん相談窓口」開設
 - ・がん患者・家族が知りたい情報をまとめた
ガイドブックの作成・がん相談窓口のPR



1. 院内の緩和ケアチームと連携して地域へのPR

<2009~2013>



高山ピンクリボンキャンペーン
【市民健康まつり】



緩和ケア市民公開講座・緩和ケアセミナー

Orange Balloon Project



緩和ケアチームメンバー



がん相談窓口の紹介



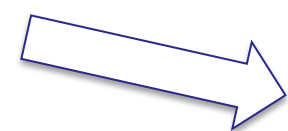
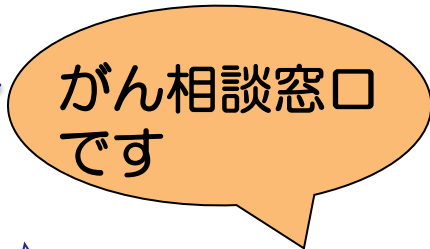
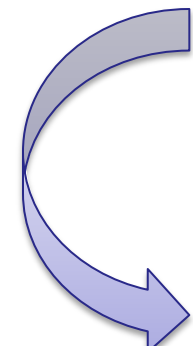
2. 地域の市民団体との交流・患者会への参加

- 既存の患者会などが開催する患者会へ
(2006～) 助言者として参加
- 市民団体主催の講演会の講師を務める
(1998～)
- 副作用対策グッズの作成・レンタルに協力
- 患者会主催の交流会に参加

これらの活動から得られた患者さんの本音が
当院のがん相談窓口の財産になっています!!



地域の患者会・講演会での出会いがきっかけで、相談窓口
で継続的に関わらせていただくケースも増えてきています。



3. 行政・医療機関・市民参加型の会 <2007~2012> 「飛騨にホスピスをつくる会」の一員としての活動



①病院のがん相談は敷居が高い！！

⇒ショッピングセンター：「がん相談窓口」開設：2008.6

②がん患者・家族の知りたい情報が手元に欲しい！！

⇒ガイドブックを作ろう!!：2008~2010(2500冊作成)

Q & A形式で掲載



病院・診療所 34ヶ所

訪問看護ステーション 8ヶ所

調剤薬局 47ヶ所

【情報を集約!!】

がん患者や家族が迷い悩む事柄
【41】の項目に分けて…

病気の相談や療養の相談はどこにすれば
いいの？→相談先リストに掲載

- ・ 病院から家に帰るときに大切な事は？
- ・ がんでもリハビリやってもらえるの？
- ・ 家族ががんになった時、どう向き合いますか？ぐっすり眠れないときは？
- ・ 痛み・息切れ・吐き気のあるときは？
- ・ 在宅(緩和)ケアにかかる費用は？

2012年

緩和ケアセンター
オープン

地域とのつながりを大切にして 取り組んできたこと



1. 院内の緩和ケアチームと連携しての
地域への継続したPR
2. 地域の市民団体との交流
 - ・患者会への参加によるがん相談窓口のPR
3. 行政・医療機関・市民参加型の会としての活動
 - ・会員が相談員となり「がん相談窓口」開設
 - ・がん患者・家族が知りたい情報をまとめた
ガイドブックの作成・がん相談窓口のPR



周囲からの働きかけのおかげで・・・育てられた

ご清聴ありがとうございました



今後も相談に対する感性とスキルを磨き、
地域とのつながりを大切にしながら、この地域
に必要とされる取り組みを行っていきたい。

